

地域と医療とココロのかけはしをつなぐ

✚ 横手興生病院 広報誌

かけはし

自由にお持ち帰り下さい

2025.5
vol.68

理事長就任挨拶・会長挨拶

2024年度患者さん満足度調査

知って得する健康ナビ

免疫力アップに春キャベツ

撮影者 加賀谷 一

撮影場所 南由利原高原

理事長就任ご挨拶

理事長・院長 安部 俊一郎



去る令和7年3月14日の興生会社員総会に併せて開催された理事会において理事長を拝命し、重責に身の引き締まる思いですが、就任にあたり挨拶申し上げます。

まずはじめに、前理事長の杉田多喜男先生には、理事長在任30年以上にわたる長い期間において、興生会発展に尽くしてこられたことに尊敬と敬意を表します。介護老人保健施設や精神障害者支援施設の開設、精神科救急拠点としての病院運営、社会医療法人の認可など、その功績は多大です。精神医療および社会福祉への貢献を継続してきた結果が、現在の興生会を築いたことに誰も異論はないでしょう。杉田多喜男先生、長い間本当にお疲れさまでした。

さて、ここで昨今の医療・介護・福祉業界の置かれた状況を顧みます。国民皆保険制度の下に安心して充実した医療を享受することができて、それに応じる医療機関は安定した経営ができた時代はもはや過去です。信用調査会社帝国データバンクによると、令和6年度の全国における医療機関の倒産・休廃業・解散は過去最多を更新しています。興生会がそういった危機的状況にあるわけではないですが、対岸の火事として見て見ぬふりをされている状況ではなくなってきています。経営・運営に関わる者はこの世知辛い世情から何かを察しなければなりません。そして火事に巻き込まれぬよう舵をとっていかねばなりません。現場の皆さんが目の前の仕事と真摯に向き合い、それに見合った対価を得られる場であることを担保していかねばなりません。その重責たるや、「身が引き締まる思い」という表現では足りないほどに痛感しております。

働く世代が潤沢で日本が高度経済成長を続けた古き良き時代は過ぎ去り、組織の一員として迷いを抱くことなく働き続けることで報われてきた状況も昔話となりました。ライフスタイルや価値観の多様性から、組織よりも個人を尊重する意識が高まった今の時代において、求心力の乏しい組織はたちまち深刻な人手不足に陥り、衰退していくでしょう。当興生会は、精神医療、介護・福祉、障害者支援の地域における最大の担い手であり、それ故に社会医療法人として認定されています。この点は当法人にとって大きな求心力ではありますが、それに胡坐をかくことなく、より質の高い医療・サービス提供を目指して組織を前進させていかなければ、行先を見失ってしまうでしょう。また、私達の社会活動は地域にとっても不可欠であり、少々旗色が悪くなったからといって投げ出せるような無責任な仕事ではありません。私達はより良い方向に歩みを続けなければならないのです。

課せられた命題はどれも重大で簡単な内容ではありません。まだまだ若輩と自負しており、どれほどの精進を重ねれば足りるのかも見当がつきません。おそらく一生をかけて学ぶのだらうと覚悟はしております。これからも皆様の変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

会長ご挨拶

会長 杉田 多喜男



私は昭和46年3月に慈恵医大を卒業し、昭和53年より当院で副院長として勤務を始めました。

当時の興生病院の状況は、436病床でしたが医師不足が際立っており、創業者である父親の他、常勤医は一人のみで、数名の非常勤医師が交代勤務で何とかやり繰りしておりました。看護師も少なく准看護師の養成所が当院の真向かいに有ったことから、働きながら准看の資格を取得するのが一般的でした。

平成元年、創業者の父（杉田孝）が75歳で脳出血に倒れ、平成3年9月に当時45歳の私が理事長、院長に就任することになりました。看護職員の増員をはかりつつ、当初の目標として病床の減少を図りながら急性期に対応できる上位の看護基準を目指しました。医師数を確保し続けることも容易ではありませんでしたが、何とか平成12年に秋田県精神科救急システムにおける県南の常時拠点病院に指定され、平成21年4月に社会医療法人の認定に繋がることとなりました。

昭和62年に施行された精神保健福祉法に始まり、平成5年12月に「障害者基本法」の公布により、精神障害者も「障害者」として法的に位置づけられ、平成7年の「精神保健福祉法」の成立を受けて、障害者の人権擁護、社会復帰の促進が進んで行く中で、医療モデルに偏らない、社会モデルが重視されてきました。当院でも精神科病院の機能分化と地域移行、地域定着を目標に、平成7年から援護寮

（生活訓練施設）、グループホーム（地域生活援助事業）を増設し、平成12年には通所授産施設（現在の就労移行支援施設、就労支援施設）を開設してきました。また、同じく平成7年に介護老人保健施設「やすらぎの苑」も開設し、「精神科医療」「社会復帰事業」「介護老人保健施設」を当法人の三本柱として、今日に至っております。

その私も現在79歳を過ぎ、当法人の勤務歴も46年、理事長職として34年が経過しました。体力の衰えと共に集中力の衰えを痛感するようになり、令和2年10月より安部俊一郎先生に院長就任の上で私を支えてきてもらいました。

この間、安部先生の見識と力量を目の当たりにし、本年4月1日付けで私の興生会の理事長退職と交代に安部先生に新理事長就任の意向を伝え、過日3月14日開催の社員総会、理事会において、皆様に安部先生の理事長就任の議案を諮り賛同をいただきました。

今後、安部理事長・院長をリーダーとする社会医療法人興生会がこれまで以上に地域で重要な役割を担いながら、新たな課題や目標に向かい職員一丸となって活動を続けてくれることを期待する次第です。

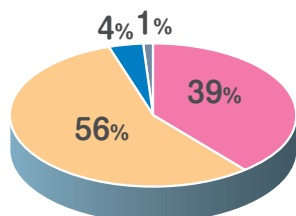
満足度調査集計結果

た。
サービス向上のために役立てて

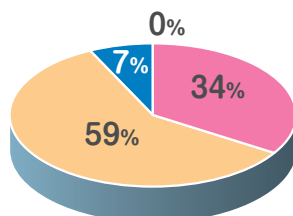
調査期間：2024年 12 月 1 日～ 12 月 31 日

調査件数：外来 93 名 入院 110 名

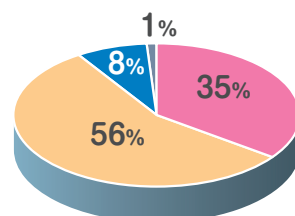
01 医師・スタッフの接し方



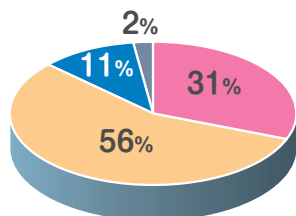
02 スタッフ間の連携



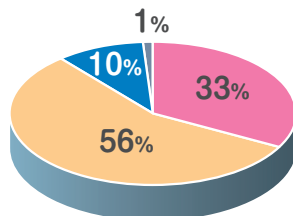
03 プライバシーへの配慮



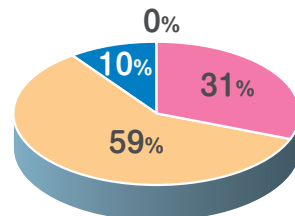
04 病状等に対するの説明



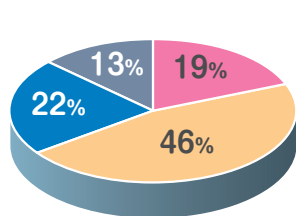
05 トイレや待合室への清掃



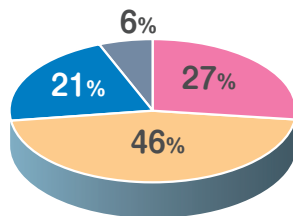
06 掲示物のわかりやすさ



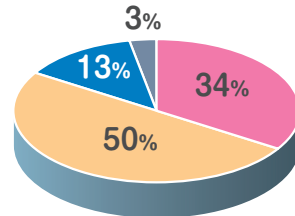
07 診察までの待ち時間



08 薬が出来るまでの待ち時間



09 会計までの待ち時間



外来部門

■9つの項目のうち、7つの項目で満足度『とても良い』『良い』が8割を超える結果となりました。

【診察・薬までの待ち時間について】

混雑時の掲示、看護師より声がけ、外来待合室にFree Wi-fiの設置など対策は講じておりますが、待ち時間長いと感じられている方が多いようです。他に工夫はないか、再検討して参りますが感じ方には個人差もあります。スタッフに気軽にお声がけ下さい。



【スタッフ間の連携や接遇面について】

9割以上の満足いただいている結果をいただき、これに慢心することなく継続していきたいと思えます。

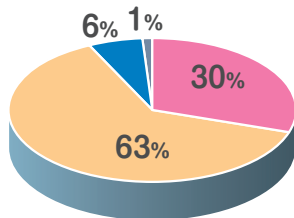
お気づきの点（自由記載欄）について様々なご意見を頂いております。ご紹介しきれませんが、沢山の貴重なご意見、心あたたまる感謝や励ましのお言葉を頂き、ありがとうございました。職員一同、真摯に受け止め、今後も医療サービス向上に努めて参ります。

サービス向上検討委員会

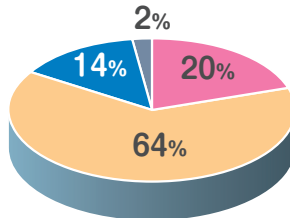
2024年度 患者さん

今回のアンケート調査では、多くの患者さんからご意見をいただきありがとうございました。アンケート結果につきましては、貴重なご意見として院内の各部署に周知し、今後の患者まいます。ご協力ありがとうございました。

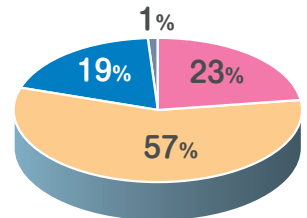
01 医師・スタッフの接し方



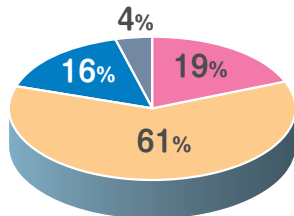
02 病状等への説明



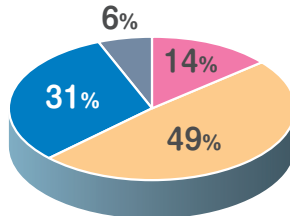
03 看護師の処置・採血等の技術



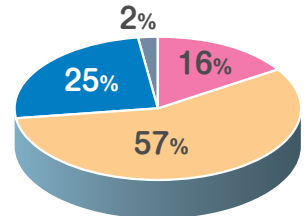
04 入院生活における説明



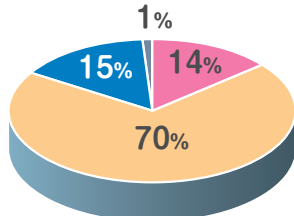
05 退院に向けての説明



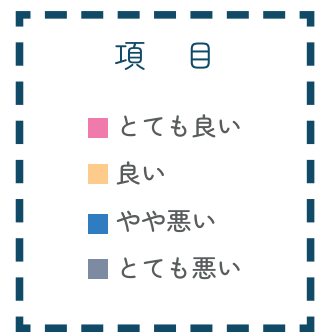
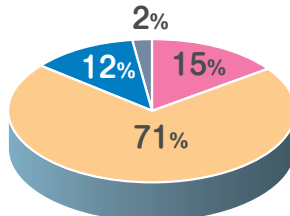
06 トイレ・浴室など療養環境



07 所持品やプライバシーへの配慮



08 図書や掲示物などの情報



■8つの項目のうち、6つの項目で満足度『とても良い』『良い』が8割を超える結果となりました。

【入院生活・退院に向けての説明について】

退院に向けての説明部分で満足いただけていない結果となっております。相談がなくとも定期的に気持ちをお聞きするなど寄り添った対応を心がけ、安心して療養、退院に向けての準備ができるようお手伝いさせていただきます。

【トイレ・浴室などの療養環境】

トイレ等に関して清掃面などのご意見は以前と比べると少なくなっております。個数の問題でご不便をおかけしている事が想像されます。お気づきの点がございましたらスタッフに遠慮なくお声がけください。

【医師・スタッフの接し方】

外来同様に9割以上の方に満足頂けております。今後も患者さんに寄り添った対応を継続していきます。



知って得する健康ナビ

免疫力アップに春キャベツ

春キャベツは春にだけ食べられるキャベツで一般的なキャベツと比べると丸くてやや小さめで水分が多く柔らかいことが特徴です。春キャベツを選ぶポイントとしては葉の緑色が濃くずしりと重さがあり艶のあるものが新鮮でおいしくとされています。また、芯の切り口が500円玉以上の大きさだと成長のし過ぎで葉が固いものが多いので注意しましょう。春キャベツには皮膚や血管の老化を防止し、免疫力を高める働きを持つビタミンCや胃酸の分泌を抑え胃粘膜を修復する働きを持つビタミンU（キャベジン）が含まれています。また、骨を丈夫にするビタミンK、塩分の排泄やむくみを予防したり血圧降下に効果のあるカリウム、近年注目されている体内の解毒作用や抗酸化作用を高め癌を予防する効果が期待されるイソチオシアネートという栄養素も含まれています。キャベツの保存方法は普段は捨ててしまつた外葉で包んでから新聞紙に包むと乾燥対策になります。栄養素もたっぷりですし食べられない春キャベツ、おいしくいただきますよ。

作り方

- ①春キャベツは芯を残したまま縦半分にカットする。
- ②フライパンに油を熱し、焼き色がしっかりと付くまで春キャベツを両面焼く。一緒にウインナーも炒める。
- ③めんつゆで味付けをし、皿に盛り付ける。

今回はめんつゆにしましたが、お好みで焼肉のタレなどでもおいしくいただけます。キャベツにしっかりと焼き色を付けることでうまみがアップします。

横手興生病院栄養科

管理栄養士 小番 花予 監修



ケアレシビ 春キャベツのステーキ

- 材料（2人分）**
- ★春キャベツ 4/1個 250g
 - ★サラダ油 大さじ1
 - ★ウインナー 2本
 - ★めんつゆ（お好みで）

Dr 紹介



精神科医
武田 久仁人

秋田県秋田市出身で、中学までは地元の学校で学び、東京の高校に進学しました。高校卒業後は音楽の専門学校に進学しましたが紆余曲折を経て東北医科薬科大学医学部に再入学しました。大学卒業後、平鹿総合病院に臨床研修医として入職し、横手にやってきました。精神科研修でお世話になった縁で令和6年4月に横手興生病院に拾っていただき、現在に至ります。出来ることを増やしながら精一杯頑張りたいと思います。



精神科医
白崎 陽一

令和7年4月より横手興生病院に常勤として勤務させていただいている白崎陽一と申します。出身は由利本荘市で、高校卒業まで地元で暮らしました。仙台の大学を卒業後、地元の総合病院に初期研修で2年間勤務し、その後は精神科専攻医として昨年度は秋田大学病院で1年間勤務し、今年度4月から専攻医2年目です。趣味はバスケットなので、興味ある方は誘っていただけるとうれしいです。

まだまだ慣れないことも多いですが、地域の皆様のお役に立てればと思いますので、今後ともどうかよろしくお願いいたします。



外来担当表

2025年4月～

	月	火	水	木	金	土
第1診察室	小 泉		小 林	小 泉	小 林	小 林
第2診察室		佐藤(雅)	佐藤(雅)	佐藤(甫)	佐藤(甫)	
第3診察室	武 田	安 部		榊 田	榊 田	榊 田
第5診察室	藤 嶋	藤 嶋	白 崎	安 部	白 崎	

- 診療科目** 精神科・内科
- 外来診療日** 月曜日～金曜日、第2・第4以外の土曜日（祝日は休診）
- 診療受付時間** 午前8時30分～午前11時30分



社会医療法人 興生会
横手興生病院

〒013-0016

秋田県横手市根岸町8-21

TEL 0182-32-2071

URL <https://www.kohseikai.com/>

横手興生病院

検索

